

# 三条商工会議所景況調査概況

【令和5年10月～12月期】

日本商工会議所が全国の商工会議所ネットワークを活用して、各地域での「肌で感じる景況感」（早期景気観測調査＜LOBO調査＞）を毎月集計した令和6年1月の結果と、三条商工会議所で3ヶ月毎に会員事業所にアンケート調査を行った最近の業況をまとめた資料です。

- 調査対象：＜全国＞全国 326 商工会議所が 2,451 企業にヒアリング。回答数 1,920 件  
＜三条地域＞会議所会員事業所 400 社を対象にアンケート調査。回答数 218 件
- DI値＝（増加・好転などの回答割合）－（減少・悪化などの回答割合）  
従業員DIは（不足とする回答割合）－（過剰とする回答割合）

## 【全国の業況】

### 1月の全産業合計の業況DIは、▲11.4（前月比▲3.0ポイント）

小売業は、5類移行後初めての年始を迎え、初売り等の特需がけん引し、改善した。一方、サービス業は、新年会需要は堅調なもの、深刻な人手不足で需要に対応が追い付かず、悪化した。また、卸売業は、買い控えによる日用品・飲食品関係の引き合い低迷で悪化し、製造業は、飲食品関係の受注減や、自動車関係の一部生産停滞で悪化した。建設業も住宅関係の民間工事を中心に弱含んでいる。

物価高や賃上げによるコスト増、深刻な人手不足、価格転嫁対応など、長期化している経営課題は多い。加えて、元日に発生した能登半島地震による物流やサプライチェーンへの影響も重なり、中小企業の業況は悪化となった。

### 先行き見通しDIは、▲13.8（今月比▲2.4ポイント）

中国等の海外経済の減速や地政学リスクが高まる中、国内における設備投資拡大やインバウンドを含む観光需要の増加による消費拡大が期待される。

一方、長引く物価高による買い控えや、円安基調・エネルギー価格の上昇等によるコスト増が企業収益を圧迫している。また、深刻な人手不足や価格転嫁への対応など長期化している課題は山積しており、先行きは厳しい見方が続く。

## 全国の1月産業別業況

### 【建設業】

「4月から始まる働き方改革関連法の施行に向けて、週休2日制の導入・残業時間の削減に向けて取組みを始めた。法令順守に向けて、業界だけでなく取引先を含めた社会全体で、適正な工期や受発注金額の設定への理解が促進されることを求める」（土木工事業）、「技術者を中心に人材不足が深刻なため、人材確保に向けて新たに福利厚生制度を創設し、職場環境の改善に努めている」（とび大工工事業）

### 【製造業】

「元日に発生した能登半島地震において取引先が被災したため、受注・生産に影響が出ている。また、自動車関係部品の製造を行っているが、先の手自動車会社の生産停止による影響も先が見通せず、年明けから事業計画の変更を余儀なくされるスタートになった」（工業用プラスチック製品製造業）、「物価高の影響で既存事業における取引先からの発注が想定より減少。本年は事業再構築補助金を活用し、新事業へ取組む予定である」（水産食料品製造業）

### 【卸売業】

「取引先である小売店において客足・購入品数の減少が著しく、当社への引き合いも減少しており、売上が上がらない。このような中で、運送費や包装資材等のコストは増加しており、採算も取れない状況である」(衣服・日用品卸売業)、「物価高の中、従業員の離職防止のために賃上げを行いたいと思っているが、コスト負担が重荷となり、原資が確保できない」(一般機械器具卸売業)

### 【小売業】

「5類移行後初めての年始に加え、例年よりも気温が高かったこともあり、人流が多く、初売りの売上も好調であった。年始を過ぎると閑散期に入るが、付加価値商品の開発等で売上を堅持していくとともに、人手不足にならないよう、価格転嫁による賃上げの原資確保を進めたい」(百貨店)、「原材料やエネルギー価格の上昇に対して価格転嫁を行いたい、消費者離れを危惧して取組みを躊躇している」(物産品小売業)

### 【サービス業】

「5類移行後初めての新年で、新年会需要が堅調に推移した。また、インバウンド需要回復の恩恵もあり予約も好調。しかし、予約の無断キャンセルなど新たな課題も発生しているため、事前決裁システムを導入し、安心できる受け入れ態勢を構築していく」(飲食業)、「システム開発のため原材料はないが、電気代や人件費は増加している。価格転嫁に取組みたいが、取引先の理解を得るのが難しい」(ソフトウェア業)

## 【令和5年10月～12月期の三条地域の業況】

(※三条地域の詳細データにつきましては、当所ホームページをご参照ください。)

<https://www.sanjo-cci.or.jp>

当地域の全業種合計の業況DIは、令和4年度第3四半期(R4年10～12月)比(以後 前年同期比という)では▲24(前期差1ポイント減)となった。業種別では、建設業が▲31(前期差14ポイント減)、製造業が▲23(前期差6ポイント増)、卸売業が▲42(前期差2ポイント減)、小売業が▲28(前期差15ポイント増)、サービス業が±0(前期差18ポイント減)となった。前回調査に比べ、製造業、小売業はDI値が回復したが、建設業、卸売業、サービス業はDI値が減少で推移した。

### 三条地域の業種別概況

#### 【建設業】

建設業では、前年同期比の業況DIは▲31(前期差14ポイント減)、採算DIは▲26(前期差5ポイント増)、売上額DIは▲14(前期差10ポイント増)、従業員DIは+11(前期差7ポイント増)となり、採算DI、売上額DI、従業員DIは増加したが、業況DIは減少で推移した。

#### 【製造業】

製造業では、前年同期比の業況DIは▲23(前期差6ポイント増)、採算DIは▲19(前期差9ポイント増)、売上額DIは▲24(前期差3ポイント増)、従業員DIは+6(前期差9ポイント増)となり、業況DI、採算DI、売上額DI、従業員DIとも増加で推移した。

#### 【卸売業】

卸売業では、前年同期比の業況DIは▲42(前期差2ポイント減)、採算DIは▲24(前期差4ポイント減)、売上額DIは▲33(前期差2ポイント増)、従業員DIは▲12(前期差5ポイント減)となり、売上額DIは増加したが、業況DI、採算DI、従業員DIは減少で推移した。

#### 【小売業】

小売業では、前年同期比の業況DIは▲28(前期差15ポイント増)、採算DIは▲20(前期差15ポイント増)、売上額DIは▲16(前期差3ポイント減)、従業員DIは▲4(前期差5ポイント増)となり、業況DI、採算DI、従業員DIは増加したが、売上額DIは減少で推移した。

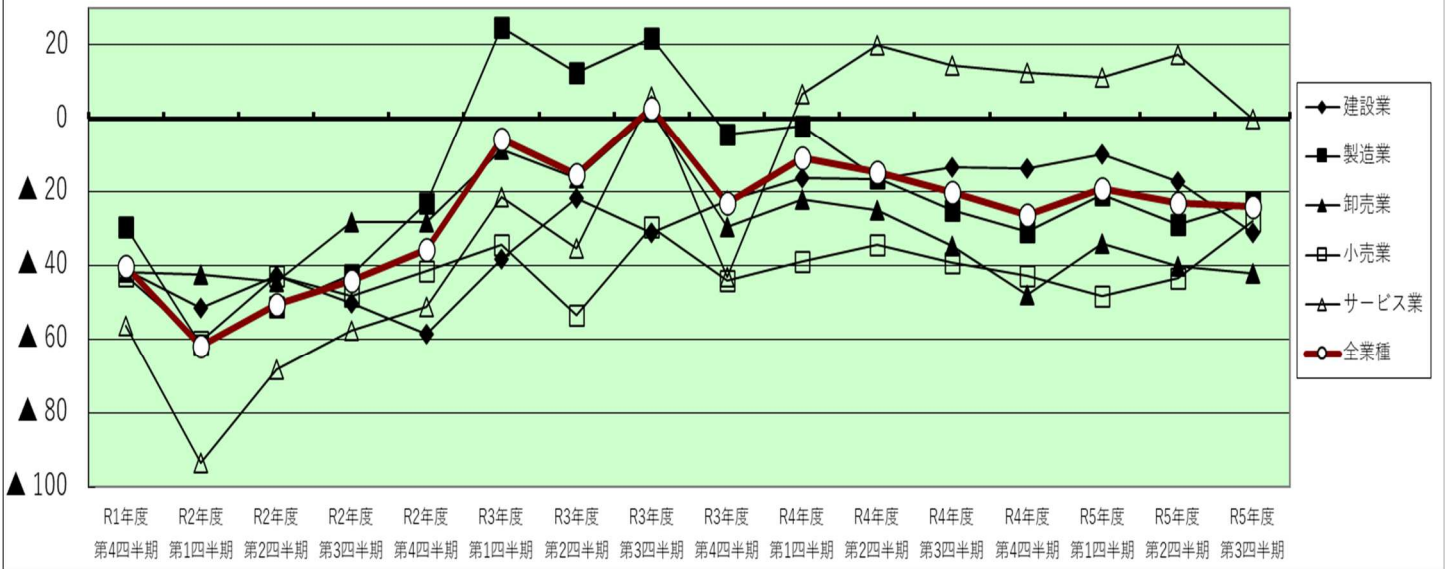
#### 【サービス業】

サービス業では、前年同期比の業況DIは±0(前期差18ポイント減)、採算DIは▲14(前期差14ポイント減)、売上額DIは▲5(前期差25ポイント減)、従業員DIは±0(前期差3ポイント増)となり、従業員DIは増加したが、業況DI、採算DI、売上額DI、は減少で推移した。

三条地域の業況DI(前年同期比)の推移 ※DI値＝「良いとする回答割合」-「悪いとする回答割合」

	R1 年度	R2 年度				R3 年度		
	第 4 四半期	第 1 四半期	第 2 四半期	第 3 四半期	第 4 四半期	第 1 四半期	第 2 四半期	第 3 四半期
全業種	▲ 40	▲ 62	▲ 51	▲ 44	▲ 36	▲ 6	▲ 15	3
建設業	▲ 41	▲ 52	▲ 43	▲ 50	▲ 59	▲ 38	▲ 22	▲ 31
製造業	▲ 29	▲ 61	▲ 51	▲ 42	▲ 23	25	12	22
卸売業	▲ 42	▲ 42	▲ 44	▲ 28	▲ 28	▲ 8	▲ 16	2
小売業	▲ 43	▲ 61	▲ 43	▲ 48	▲ 41	▲ 34	▲ 53	▲ 30
サービス業	▲ 56	▲ 93	▲ 68	▲ 58	▲ 51	▲ 21	▲ 35	6
	R3 年度	R4 年度				R5 年度		
	第 4 四半期	第 1 四半期	第 2 四半期	第 3 四半期	第 4 四半期	第 1 四半期	第 2 四半期	第 3 四半期
全業種	▲ 23	▲ 11	▲ 15	▲ 20	▲ 26	▲ 19	▲ 23	▲ 24
建設業	▲ 22	▲ 16	▲ 17	▲ 13	▲ 14	▲ 10	▲ 17	▲ 31
製造業	▲ 4	▲ 2	▲ 16	▲ 25	▲ 31	▲ 21	▲ 29	▲ 23
卸売業	▲ 29	▲ 22	▲ 25	▲ 35	▲ 48	▲ 34	▲ 40	▲ 42
小売業	▲ 44	▲ 39	▲ 34	▲ 39	▲ 43	▲ 48	▲ 43	▲ 28
サービス業	▲ 43	7	20	14	13	11	18	0

業況DI推移 (前年同期比)

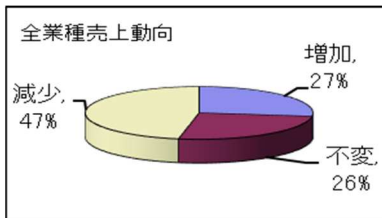


令和5年度 第3四半期(2023年10月～12月)

※四捨五入の関係上百分率の合計が合わないことがあります。

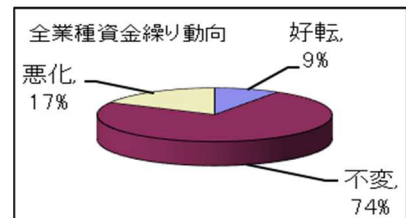
業種別売上動向 (前年同期比)

業種		増加	不変	減少
全業種	件数	61	58	106
	%	27%	26%	47%
建設業	件数	9	7	13
	%	31%	24%	45%
製造業	件数	19	26	39
	%	23%	31%	46%
卸売業	件数	10	10	25
	%	22%	22%	56%
小売業	件数	6	9	10
	%	24%	36%	40%
サービス業	件数	17	6	19
	%	40%	14%	45%



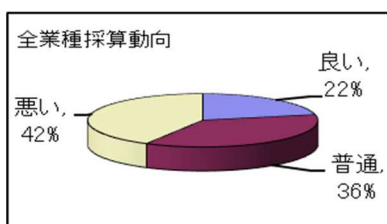
業種別資金繰り動向 (前年同期比)

業種		好転	不変	悪化
全業種	件数	20	164	39
	%	9%	74%	17%
建設業	件数	1	21	7
	%	3%	72%	24%
製造業	件数	10	60	14
	%	12%	71%	17%
卸売業	件数	3	36	6
	%	7%	80%	13%
小売業	件数	1	16	8
	%	4%	64%	32%
サービス業	件数	5	31	4
	%	13%	78%	10%



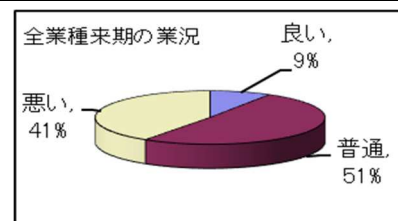
業種別採算動向 (前年同期比)

業種		良い	普通	悪い
全業種	件数	48	81	93
	%	22%	36%	42%
建設業	件数	3	14	10
	%	11%	52%	37%
製造業	件数	20	27	36
	%	24%	33%	43%
卸売業	件数	8	18	19
	%	18%	40%	42%
小売業	件数	4	12	9
	%	16%	48%	36%
サービス業	件数	13	10	19
	%	31%	24%	45%



業種別来期(2024.1～3月)の業況(今期比の見通し)

業種		良い	普通	悪い
全業種	件数	16	94	75
	%	9%	51%	41%
建設業	件数	1	16	7
	%	4%	67%	29%
製造業	件数	5	35	31
	%	7%	49%	44%
卸売業	件数	4	16	17
	%	11%	43%	46%
小売業	件数	0	11	6
	%	0%	65%	35%
サービス業	件数	6	16	14
	%	17%	44%	39%



日本商工会議所の全国の業況、三条地域の業況の詳細データにつきましては、当所ホームページをご参照ください。  
<https://www.sanjo-cci.or.jp>